

先進的あるいは特色ある教育課程	学校名等	課程
「探究的な活動の充実」	埼玉県立小鹿野高等学校	全日制 総合学科

## ア 取組状況について

### ① 教育課程

(教育課程編成)

- ・創立75年目、普通科から学科転換し、本年度20年目となる総合学科高校である。1年次募集定員120名であるが、秩父地域の少子化が進んでいることもあり、本年度は、1年次32名、2年次34名、3年次54名の生徒総数120名である。
- ・1年次は必修科目を中心に設定し、2年次から4系列(福祉生活系列、地域観光系列、文理総合系列、文化教養系列)に分かれ、希望進路実現に向け、約80の科目から選択履修することができるように設定している。

(授業展開)

- ・各年次3クラスを4クラスに展開した少人数クラス編成を実施し、一人ひとりを大切にしたいきめ細かい指導により生徒の成長を支援している。
- ・「総合的な探究の時間」においては、地域を理解し、地域を担う人材を育成することを目標とし、高校生視点による地域振興に向けた課題解決型探究学習を実施している。令和2年度は、「株式会社小鹿野高校」と題し、小鹿野町の魅力についてフィールドワークを通じた探究活動を実施、令和3年度は、「町づくりの企画書を考えよう」をテーマに、「生活・スポーツ・町PR・観光」の4分野において企画書を作成、いずれも成果発表会を実施している。
- ・企画書の作成、発表に当たっては、一人1台ずつタブレットかPCを使用し、ペアワークや全体での共有に向けてはGoogle Jamboardを活用、アンケート作成、集計においてはGoogle formsを活用、企画書としてまとめる段階ではGoogle sitesにより進行管理し、最後、パワーポイントを使用してグループ毎にプレゼンテーションを実施している。

### ② 教員の指導力向上

(教員研修)

- ・県指定事業「越境×探究！未来共創プロジェクト」に教員を派遣し、研修成果を校内研修会で共有することにより、地域や社会の人的・物的資源を活用等に対する理解を深めている。

(外部人材の活用)

- ・「地域包括連携協定」を結んでいる小鹿野町の役場関係課(10課)、地域おこし協力隊、地域民間企業等から、講師として派遣していただき、生徒の企画書に対する指導、助言をいただくとともに、意見交換を実施し、企画書のブラッシュアップに役立っている。
- ・県指定事業の一環として、小鹿野町で活動している「東洋大学ふるさと支援隊(教員・学生)」の主導により、地域資源発掘や地域魅力PR動画作成等のワークショップを実施している。

### ③ 校内組織

- ・本年度から、「総探運営委員会」を定例化し、1年次「産業社会と人間」から2・3年次「総合的な探究の時間」へと系統立てた指導法の確立やPDCAサイクルを活用した探究活動の深化に向けた指導内容の充実等を目的とし、組織としての指導体制整備・構築を図っている。

### ④ 施設設備

- ・全普通教室プロジェクタ、アクセスポイント設置、タブレット端末44台整備、同時双方向型オンライン学習可能容量のBYOD回線が敷設されており、令和5年度入学生からの年次進行によるBYODによるタブレット1人1台端末整備に向けて検討中である。

### ⑤ 取組の成果の(都道府県)全体への普及・共有方法

- ・成果発表会を実施し、地域住民や中学生等へも公開し、取組に対する波及効果並びに本校に対する理解促進も見込んでいる。
- ・埼玉県教育委員会・一般社団法人埼玉県経営者協会共催「埼玉県キャリア教育実践アワード」に応募し、取組の普及・理解促進に取り組んでいる。

## イ 今後の課題

- ・地域と連携した探究的な活動を、持続可能な学校全体の取組とするための体制を整備する必要がある。